

平成 29 年度 土木学会 西部支部沖縄会 総会

日時：平成 29 年 7 月 18 日(火) 16 時 40 分～17 時 10 分

場所：那覇市厚生会館

議 事 次 第

進行：事務局

1. 運営委員長からのあいさつ

2. 審議内容

【第 1 号議案】

平成 28 年度報告（案）

- | | | |
|---------------------|-------|----|
| ① 平成 28 年度 事業報告（案） | _____ | 1 |
| ② 平成 28 年度 収支決算書（案） | _____ | 18 |

【第 2 号議案】

平成 29 年度事業（案）

- | | | |
|----------------------|-------|----|
| ① 平成 29 年度 主要事業計画（案） | _____ | 20 |
| ② 平成 29 年度 予算書（案） | _____ | 23 |

【第 3 号議案】

- | | | |
|-----------------|-------|----|
| 沖縄会規約の改定について（案） | _____ | 24 |
|-----------------|-------|----|

3. その他

【参考資料】

- | | | |
|------------------------------|-------|----|
| 参考 1 土木学会会員（フェロー・正会員・学生会員）名簿 | _____ | 33 |
| 〃 2 沖縄会特別会員 B 名簿 | _____ | 35 |

平成28年度 事業報告(案)

1. 沖縄会運営委員会 (H28. 6. 16) 那覇市おもろまち 県立博物館・美術館 参加：17名 (委任状含む)
2. 沖縄会定期総会 (H28. 6. 16) 那覇市おもろまち 県立博物館・美術館 参加：62名 (委任状含む)
3. 講演会の開催
講演会『地方強靱化と日本再生－沖縄への期待と役割－』(H28. 6. 16) [H27年度繰り越し事業]
【主催：沖縄会、(一社)沖縄しまたて協会】
場所：那覇市おもろまち 沖縄県立博物館・美術館
講演会『豪雨災害の予測と減災』世界がうらやむ土木工学・気象学・電波工学の融合とその意義
【主催：沖縄会】 (H28. 10. 26)
場所：浦添市勢理客 浦添市産業振興センター 結の街 (3F/大研修室)
4. 講習会等
『過酷な塩害環境下の橋梁長寿命化に関する技術講習会
～最先端SIP点検診断技術と沖縄会橋梁長寿命化技術小委員会報告～』(H29. 2. 7)
【主催：沖縄会】
共催：SIPインフラ維持管理・更新・マネジメント技術「亜熱帯島嶼に適した橋梁維持管理技術
の実装と診断ドクターの育成(琉球大学)」
場所：那覇市おもろまち 沖縄県立博物館・美術館
5. 技術研究発表会等
土木学会西部支部沖縄会 第6回技術研究発表会 (H29. 1. 17)
【主催：沖縄会】
場所：西原町 琉球大学 研究者交流会館・50周年記念会館
6. 広報活動
「橋の日」清掃活動 (H28. 8. 9) 国道331号 豊見城道路「与根高架橋」清掃活動 参加：約90名
【主催：沖縄会、共催：琉球大学工学部環境建設工学科、琉球大学土木同窓会、
内閣府沖縄総合事務局開発建設部、内閣府沖縄総合事務局南部国道事務所、沖縄県土木建築部、
(一社)沖縄県測量建設コンサルタント協会、琉大工学部土木学生】
『土木・社会基盤の仕事高校生向けPRポスター』No.1～No.4 作成。
県立高校59校及び私立高校4校へ配布し、土木学会西部支部沖縄会のHPへ掲載。
7. 土木技術者の確保・育成の取組
・人材確保・育成 西原町 琉球大学 地域創生総合研究棟
(WG活動内容：高校向け土木技術者PR用ポスターを作成しH28. 10から県立高校へ配布)
8. 現場見学会等
「土木・社会基盤の仕事」に関する現場見学会・懇談会 (H29. 1. 21)
【主催：沖縄会 後援：沖縄県教育庁、琉球大学】
場所：西原町 琉球大学工学部2号館 2F 大会議室
モノレール首里駅～てだこ浦西駅建設現場見学

9. ホームページの管理、運営

- ・各事業の取組に合わせて適宜情報を提供し、広報等に活用
【 <http://www.jsce-okl.tec.u-ryukyu.ac.jp/index.html> 】

10. その他

幹事会

- ① 第一回幹事会 (H28.6.7) 沖縄県庁 (4F) 参加者：14名 (委任状含む)
- ② 第二回幹事会 (H28.9.15) 沖縄県庁 (11F) 参加者：15名 (委任状含む)

特別講演会開催



地方強靱化と 日本再生

—沖縄への期待と役割—

(一財) 国土技術研究センター
国土政策研究所長

大石 久和

日時

平成28年6月16日(木)
14:00~16:40 定員212名

主催

(公社) 土木学会西部支部 沖縄会
(一社) 沖縄しまたて協会

会場

沖縄県立博物館・美術館講堂(3階)
沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

後援

沖縄総合事務局、沖縄県

プログラム

開会挨拶：柳橋 則夫 (公社) 土木学会西部支部沖縄会会長 (沖縄総合事務局次長)

講演 1：「沖縄県における社会資本整備と地方創生」
大城 郁寛 (琉球大学法文学部教授)

特別講演：「地方強靱化と日本再生—沖縄への期待と役割—」
大石 久和 (一財) 国土技術研究センター 国土政策研究所長

本講演は CPD・CPDS 対象講座です。【参加料】無料

申込先：一般社団法人 沖縄しまたて協会

[FAX] 098-874-5301 [TEL] 098-879-2087
[E-mail] agarie@shimatate.or.jp

特別講演会開催

豪雨災害の予測と減災

世界がうらやむ土木工学・気象学・電波工学の融合とその意義



京都大学 防災研究所 副所長 教授
公益財団法人土木学会 水工学委員会 委員長

中北英一

日時 平成28年10月26日(水) 開演 14:00~16:40

場所 浦添市産業振興センター 結の街
沖縄県浦添市勢理客4丁目13番1号(3F/大研修室)

主催 (公社)土木学会西部支部 沖縄会

後援 沖縄総合事務局(予定)・沖縄県



プログラム

開会挨拶: 宮城 理 (公社)土木学会西部支部沖縄会会長 (沖縄県土木建築部部長)

講演 1: 沖縄における土砂災害の特徴と減災の取り組み
中村 真也 / 琉球大学農学部教授

特別講演: 沖縄が実現してくれた夢の豪雨観測基礎実験
世界がうらやむ土木工学・気象学・電波工学の融合とその意義
中北 英一 / 京都大学 防災研究所 副所長 教授

本講演は CPD・CPDS 対象講座です。【参加料】無料 / 定員数:220名

【申込先】土木学会 西部支部 沖縄会事務局 (一般社団法人沖縄しまたて協会企画部内)

【FAX】098-874-5301 お問合せ(受付時間 10:00~17:00)
【TEL】098-879-2087 【E-mail】dobokuoki-jim@shimatate.or.jp

過酷な塩害環境下の橋梁長寿命化に関する 技術講習会

～最先端 SIP 点検診断技術と沖縄会橋梁長寿命化技術小委員会報告～

開会挨拶 13:00～13:05 (5分)

有住 康則 (琉球大学工学部長、沖縄会技術委員会委員長)

沖縄会報告 13:05～15:25 (140分) (20分/題)

『沖縄会技術委員会『橋梁長寿命化技術小委員会 活動報告書』の概要説明』

下里 哲弘 (琉球大学工学部環境建設工学科 准教授)

『事例調査』

国道: 川間 重一 (沖縄総合事務局開発建設部道路管理課 維持修繕係長)

県道: 砂川 勇二 (沖縄県土木建築部技術・建設業課 技術管理班長)

『耐力診断』

RC桁編: 金田 一男 (有明工業高等専門学校創造工学科
人間・福祉工学系 教授 (建築コース))

鋼桁編: 玉城 喜章 (沖縄しまたて協会技術環境研究所 副参事)

『塩害対策技術』

鋼橋: 矢ヶ部 彰 (日本橋梁建設協会)

コンクリート橋: 河邊 修作 (プレストレスト・コンクリート建設業協会九州支部 技術部会長)

～ 休憩 ～ 15:25～15:40 (15分)

SIP 講演 15:40～17:40 (120分) (60分/題)

●SIP 招待講演 1

『データ同化による橋梁コンクリート床版の寿命推定とマネジメント』

前川 宏一 (東京大学大学院工学系研究科 教授)

●SIP 招待講演 2

『インフラ維持管理、長寿命化のための材料技術』

土谷 浩一 ((国研)物質・材料研究機構 構造材料研究拠点 拠点長)

閉会挨拶 17:40～17:45 (5分)

菊地 春海 (内閣府沖縄総合事務局次長)

平成 29 年 2 月 7 日 (火)

13:00～17:45

入場無料
定員 200 名

CPD
対象講座

沖縄県立博物館・美術館 講堂 (沖縄県那覇市おもろまち 3 丁目 1 番 1 号)

主催: 土木学会 西部支部 沖縄会

共催: ・SIP インフラ維持管理・更新・マネジメント技術

「亜熱帯島嶼に適した橋梁維持管理技術の実装と診断ドクターの育成 (琉球大学)」

問い合わせ 一般社団法人 沖縄しまたて協会 TEL. 098-879-2091

土木学会西部支部沖縄会
第6回 技術研究発表会

琉球大学 研究者交流会館・50周年記念館

2017年1月17日

発表プログラム



土木学会西部支部沖縄会

会場案内



琉球大学西原口を入り、構内の信号を左に曲がり、左手すぐ。

○ 土木学会継続教育（CPD）認定プログラム

発表プログラム

2017年1月17日

Time Table

Start	End	プログラム	
9:00	9:30	受付・発表データインストール・CPD登録受付	
9:30	9:50	【 開会式 〈Room:A〉 】 開会の挨拶 : 宮城 理 (沖縄会会長・沖縄県土木建築部長) 実施要項の説明 : 津嘉山 司 (沖縄会幹事長・沖縄県技術・建設業課長)	
9:50	10:00	Break Time	
10:00	11:50	Session 1 〈Room:A〉 9編 (防災・環境関連) 座長: 津嘉山 司 (沖縄県)	Session 2 〈Room:B〉 9編 (地盤・環境関連) 座長: 富山 潤 (琉球大学)
12:00	13:00	Lunch Time	
13:00	14:50	Session 3 〈Room:A〉 8編 (振動・計測関連) 座長: 田井 政行 (琉球大学)	Session 4 〈Room:B〉 9編 (腐食・維持管理関連) 座長: 須田 裕哉 (琉球大学)
14:50	15:00	Break Time	
15:00	17:00	Session 5 〈Room:A〉 10編 (整備・交通関連) 座長: 神田忠士(沖縄総合事務局)	Session 6 〈Room:B〉 10編 (防食・材料関連) 座長: 玉城喜章(沖縄しまたて協会)
17:00	17:15	Break Time (優秀発表者賞 審査委員会)	
17:15	17:30	【 閉会式 〈Room:A〉 】 優秀発表者賞の表彰: 神田 忠士 (沖縄総合事務局 企画調整官) 閉会の挨拶 : 矢吹 哲哉 (沖縄会副会長・琉球大学名誉教授)	

Presentation Schedule

Titles and Authors

○発表時間：9分、質疑応答：3分

○概要集：2頁～6頁（原則、偶数頁）

○注意事項

- ・発表者は、各発表セッション開始前に発表パワーポイントを会場パソコンにインストールし、動作状態を確認すること。
- ・発表者および聴講者は、土木学会西部支部沖縄会の会員登録をしてください。なお、土木学会正規会員または学生は登録の必要はありません。

Time	Room A
10:00 ┆ 11:50	<p align="center">Session1: 防災・環境関連 座長：津嘉山 司 (沖縄県)</p> <ol style="list-style-type: none"> 防災情報源に着目した避難促進要因に関する考察 琉球大学大学院 三橋 洗道 琉球大学 神谷 大介, 長崎大学 吉田 護, 琉球大学大学院 峰 翔太, 熊本大学 柿本 竜治, 山口大学 赤松 良久 地区毎に危険度評価を用いた相対的な災害応力に関する研究 琉球大学 金城 太一, 神谷 大介 マルチエージェントを用いた津波避難シミュレーション分析 琉球大学 森 雅章, 神谷 大介, 松本 卓郎 琉球諸島の地盤振動特性に関する研究 琉球大学 岩下 智, 藍檀 オメル, 富山 潤, 須田 裕哉, 地殻工学防災研究所 渡嘉敷 直彦 長大斜面における落石シミュレーション及び法面対策手法について ～国道331号災害復旧工事(平成27年 災3号)～ 沖縄県北部土木事務所 玉盛 寛己, 仲尾次 慶 反応拡散系理論に基づいた3次元 Sinkhole 形成シミュレータの開発 琉球大学 川上 凌梧, 松原 仁 地下水流れを考慮した Sinkhole の形成シミュレーション 琉球大学 天野 量稀, 松原 仁 再生水利用下水道事業に関する取組みについて 沖縄県下水道管理事務所 金城 奈美 太陽光発電設備の補償について 沖縄総合事務局南部国道事務所 金城 康太
	<p align="center">Room B</p> <p align="center">Session2: 地盤・環境関連 座長：富山 潤 (琉球大学)</p> <ol style="list-style-type: none"> 乾燥-湿潤繰り返し作用を受けるベントナイトと高炉スラグの亀裂パターンに関する研究 琉球大学 平山 雄一, 琉球大学大学院 広瀬 孝三郎, 琉球大学 松原 仁 共役勾配法による地盤沈下シミュレータの高速化 琉球大学 大野 喬, 松原 仁 圧密時間が圧密特性値におよぼす影響に関する実験的研究 琉球大学大学院 山路 伸悟, 琉球大学 羽間 翔一, 原 久夫 第四期琉球層群の不整合面における特徴的な浸食形態 琉球大学 崎山 浩考, 琉球大学大学院 広瀬 孝三郎, 琉球大学 松原 仁 玄武岩質枕状溶岩に残された微細構造の数理モデリング 琉球大学 宮城 圭汰, 松原 仁 八重山層群に見られる剥離状風化と微生物活動の関連性 琉球大学大学院 岩崎 竜馬, 琉球大学大学院 廣瀬 孝三郎, 琉球大学 松原 仁 石灰岩のマルチフィジックス生成作用に関する一考察 琉球大学 大城 勇人, 琉球大学大学院 廣瀬 孝三郎, 琉球大学 松原 仁 琉球石灰岩の化学的風化に伴う残柱強度に関する実験的研究 琉球大学 土肥 翔, 琉球大学大学院 廣瀬 孝三郎, 琉球大学 松原 仁 乾燥-湿潤繰り返しプロセスがMudcrackおよびMudblockに与える影響 琉球大学大学院 広瀬 孝三郎, 琉球大学 松原 仁

Time	Room A
13:00 ┆ 14:50	<p align="center">Session3: 振動・計測関連 座長：田井 政行 (琉球大学)</p> <ol style="list-style-type: none"> 岩盤不連続面及び施工ジョイントの動的せん断特性に関する実験的研究 琉球大学 安川 完祐, 藍檀 オメル, 富山 潤, 須田 裕哉 地震断層のスティック・スリップ挙動に関する実験的研究 琉球大学 上之郷 唯奈, 藍檀 オメル, 富山 潤, 須田 裕哉, 地殻工学防災研究所 渡嘉敷 直彦, 中電技術コンサルタント 岩田 直樹 振動特性を利用した構造物の健全評価手法の構築 琉球大学 宮里 政國, 琉球大学大学院 吉次 優祐, 琉球大学 藍檀 オメル, 富山 潤, 須田 裕哉 各種公共交通機関の振動特性に関する基礎研究 琉球大学 津田 浩希, 藍檀 オメル, 富山 潤, 須田 裕哉 沖縄本島における石積文化財の保全に対する多重パラメータ動態観測システムの開発と適用 琉球大学 平良 ひかり, 藍檀 オメル, 富山 潤, 須田 裕哉, 地殻工学防災研究所 渡嘉敷 直彦 加速度応答を用いた変位応答モニタリングに関する検討 (株)TTES 梅川 雄太郎, 菅沼 久忠, 岐阜大学 木下 幸治, 小野 友暉 道路橋照明柱の疲労特性に関する研究 琉球大学 浅田 智巳, 下里 哲弘, 田井 政行, 有住 康則 具志川環状線の基礎工事近接地下墓に及ぼす影響に関する研究 琉球大学 田中 秀和, 藍檀 オメル, 富山 潤, 須田 裕哉, 地殻工学防災研究所 渡嘉敷 直彦
	<p align="center">Room B</p> <p align="center">Session4: 腐食・維持管理関連 座長：須田 裕哉 (琉球大学)</p> <ol style="list-style-type: none"> 道路ストック総点検からみた道路附属物の損傷状況について (一財)沖縄県建設技術センター 伊波 紀彦 鋼桁端部を対象としたCold Spray工法の防食皮膜特性に関する検討 琉球大学 神山 哲史, 加藤 祐介, 田井 政行, 下里 哲弘, 有住 康則 摩擦面にコールドスプレー工法を施した高力ボルト継手のすべり耐力特性 琉球大学 澤田 知幸, 下里 哲弘, 田井 政行, 加藤 祐介 当て板ボルトと炭素繊維補修による腐食鋼桁端部のせん断耐荷力特性 琉球大学 高橋 鴻, 有住 康則, 下里 哲弘, 田井 政行, (一社)沖縄しまたて協会 玉城 喜章 腐食鋼桁端部に対する当て板ボルト工法のFEM解析モデルの提案 琉球大学 厚地 大樹, 下里 哲弘, 田井 政行, 有住 康則 高力ボルト摩擦接合継手の連結板の腐食減肉が接触圧に及ぼす影響 琉球大学 大城 泰樹, 下里 哲弘, 田井 政行, 山下 修平 腐食凹凸面に対する当て板ボルト工法のすべり耐荷力特性に関する実験的研究 琉球大学 日高 拓朱, 下里 哲弘, 田井 政行, 長坂 康史, 有住 康則 モノレールの軌道精度確保について 沖縄県都市モノレール建設事務所 島袋 祐一 那覇空港滑走路増設事業における施工期間短縮への取り組みについて ～平成31年12月の工事完成を目指して～ 沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所 飯塚 幸司, 荒木 幸宏

Time	Room A
15:00 ↓ 17:00	<p>Session5：整備・交通関連 座長：神田 忠士（沖縄総合事務局）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 海洋博公園における設備整備事例とその効果 沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所 石垣 太士, 伊良部 哲 2. 沖縄県のMICE施設の現状と今後について 沖縄県文化観光スポーツ部 安座間 猛 3. 地方農村部での高齢ドライバーの交通行動に関する調査研究 北海学園大学 堂柿 栄輔, 足利市 松山 将之, 足利工業大学 藤島 博英, 築瀬 範彦 4. 周遊観光行動の調査方法に関する基礎的考察 琉球大学 田中 謙大, 神谷 大介, 松本 拓郎, 東京工業大学 福田 大輔, 中西 航, 小林 巴奈, 都留 崇弘, 地域未来研究所 菅 芳樹 5. 観光シーズンにおける交通集中の分散化に関する取り組みについて 沖縄総合事務局北部国道事務所 濱川 昌丈, 松川 剛 6. 那覇空港滑走路増設事業におけるサンゴの保全について 沖縄総合事務局開発建設部 上地 杏奈 7. 海上保安庁係留棧橋の整備について 沖縄総合事務局石垣港湾事務所 瀬間 基広, 大村 誠 8. 那覇空港滑走路増設における車載式レーザー scanner 測量を使用した埋立沈下管理手法について 沖縄総合事務局新滑走路整備推進室 田中 貴之, 前里 尚 9. 小浜港航路における大型サンゴの人力作業による移設（竹富南航路関連事業） 沖縄県八重山土木事務所 新城 博史 10. 各種金属中・鉄塔の非破壊健全性評価に関する基礎研究 琉球大学 盛田 樹里, 藍壇 オメル, 富山 潤, 須田 裕哉
	<p>Room B</p> <p>Session6：防食・材料関連 座長：玉城 喜章（沖縄しまたて協会）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 鋼材さび面に対するCold Spray工法の防食性能評価に関する電気化学的検討 琉球大学 島 孝仁, 加藤 祐介, 田井 政行, 下里 哲弘, 有住 康則 2. Cold Spray 工法における高力ボルト角部の皮膜特性に関する研究 琉球大学 吉代 大師, 加藤 祐介, 田井 政行, 下里 哲弘, 有住 康則 3. 濡れ-紫外線サイクル促進による鋼橋塗装の劣化特性に関する研究 琉球大学 池田 信人, 加藤 祐介, 田井 政行, 下里 哲弘, 有住 康則 4. 鋼とコンクリート境界部のマクロセル腐食に対するコンクリート中の塩分量の影響 琉球大学 賀数 淳人, 加藤 祐介, 田井 政行, 下里 哲弘, 有住 康則 5. 異なる暴露環境で8年経過した無塗装仕様耐候性鋼材の保護性さび評価 琉球大学 米丸 慎人, 加藤 祐介, 田井 政行, 下里 哲弘, 有住 康則 6. 薄板モルタルを用いたコンクリート橋梁の付着塩分に関する基礎研究 琉球大学大学院 吉次 優祐, 琉球大学 松田 愛子, 富山 潤, 藍壇 オメル, 須田 裕哉 7. モルタル材料に対するシラン系含浸材およびフライアッシュの水分移動抑制効果に関する基礎研究 琉球大学 荒崎 聡子, 富山 潤, 須田 裕哉, 藍壇 オメル 8. モルタルプレートをを用いたマクロ・メソ塩害環境定量評価に関する基礎研究 琉球大学 松田 愛子, 琉球大学大学院 吉次 優祐, 琉球大学 富山潤, 須田 裕哉, 藍壇オメル 9. 実構造物に使用したコンクリート配合に対するアルカリシリカ反応促進膨張試験 琉球大学 佐古 翔輝, 富山 潤, 須田 裕哉, 藍壇 オメル, 琉球セメント(株) 比屋根 方新, 神谷 和志, 上里 尚也 10. 池間大橋橋梁補修補強工事における状況報告 沖縄県宮古土木事務所 田中 文也

『橋の日』イベント

実施報告書

平成28年8月

主催：土木学会西部支部沖縄会

1. 「橋の日」活動の概要

8月4日は「橋の日」として、私たちの生活と文化に密接なかかわりを持つ橋に感謝を込めて、橋の清掃活動を行っている。本活動は現在、全国47都道府県すべてに広がり、沖縄県では平成23年度以降連続開催し今年6回目を実施するものである。

2. 「橋の日」活動の目的

- ・橋に感謝し、橋の歴史や構造を学ぶ。
- ・橋に感謝し、橋とのふれあいの日にする。
- ・橋に感謝し、橋を大事にする心を育む。

3. 主催等

主催：土木学会西部支部沖縄会

4. 共催（参加協力）

- ：琉球大学工学部環境建設工学科土木コース（学生）
- ：琉球大学土木同窓会
- ：内閣府沖縄総合事務局開発建設部
- ：内閣府沖縄総合事務局南部国道事務所
- ：沖縄県土木建築部
- ：（一社）沖縄県測量建設コンサルタンツ協会（測建協）

5. 活動内容

- 日付：平成28年8月9日（火）
- 時間：午前10時～12時まで
- 場所：与根高架橋（国道331号 豊見城道路）
- 集合：与根高架橋下駐車場
- 内容：
 - ・学生による与根高架橋に関する説明
 - ・測建協の出前講座
 - ・与根高架橋及び周辺の清掃
 - ・橋のふしぎ探し

6. 参加者

- ・豊見城市 豊崎学童クラブ
- ・琉球大学
- ・沖縄総合事務局開発建設部
- ・沖縄総合事務局開発建設部南部国道事務所
- ・沖縄県土木建築部
- ・琉球大学土木工学科・環境建設工学科土木同窓会
- ・（一社）沖縄県測量建設コンサルタンツ協会
- ・土木学会西部支部沖縄会 会員

※A班は上流側、B班は下流側の担当とする。

7. 当日のスケジュール

時刻	内容	留意点
9:45	豊見城市 与根高架橋下駐車場 集合	駐車場は与根高架橋下駐車場 位置図参照
10:00	開会式	司会：津嘉山課長（幹事長）
	開会あいさつ	矢吹副会長
10:05	与根高架橋 概要説明 質疑応答	琉球大学学生
10:30	橋梁に関する講座	測建協
10:55	作業説明	沖縄会事務局（琉球大学） 作業範囲、注意点、「橋のふしぎ 探し」の説明
11:00	「橋のふしぎ探し」及び清掃 清掃を行いながら、橋のふしぎを探す 桁下駐車場及び歩道部の清掃 その他橋周辺でキレイになること	・道具は、事前に貸与 ・ゴミ袋は透明なものを使用 ・ごみは、南部国道事務所担当 者が回収 位置図参照
11:15	作業終了～記念撮影～桁下駐車場へ移動	与根高架橋緊急避難階段前で 記念撮影
11:25	「橋のふしぎ探し」発表及び解説	
11:45	学童クラブ 児童代表挨拶	感想など
11:55	閉会あいさつ	琉球大学土木同窓会長
12:00	昼食	(琉大学生)昼食をとる 琉球大学学生分 (弁当)

※挨拶、説明等の場所は桁下駐車場とする。

8. 実施にあたっての役割分担等

(1) 費用負担

- ・土木学会西部支部沖縄会：昼食代、軍手代（80組）、学童クラブご褒美代、保険（琉大学生34名、学童クラブ40名）
- ・琉球大学土木同窓会：Tシャツ代

(2) 役割分担

- ・実施計画書作成：土木学会沖縄会（琉球大学）
- ・記者発表：技術・建設業課
- ・昼食手配、保険の手続き：土木学会沖縄会（琉球大学）
- ・飲み物、学童クラブご褒美：土木学会沖縄会（琉球大学）
- ・Tシャツ準備：琉球大学土木コース学生
- ・マイク：技術・建設業課
- ・当日使用する道具：(3)に記載
- ・参加者募集等：各組織
- ・当日の司会：津嘉山課長（幹事長）
- ・当日の監督係：南部国道事務所、琉大同窓会
- ・道路管理者への許可：南部国道事務所
- ・ゴミ処分：南部国道事務所から維持管理業者に依頼

(3) 当日用意するもの

担当	道具	数量
琉球大学	・ほうき、ちり取り、雑巾、軍手	人数に応じて適宜
南部国道事務所	・ゴミ袋、ゴミバサミ	人数に応じて適宜
琉球大学土木同窓会	・ほうき、バケツ8個、 ・「橋のふしぎ探し」賞品	人数に応じて適宜
沖縄会 事務局 (琉球大学)	・雑巾、軍手、カメラ	人数に応じて適宜
参加者	・帽子、タオル、その他暑さ対策グッズ	各自で対応

9. イベント風景

(1) 開会あいさつ、ならびに与根高架橋についての紹介。

- ・ 司会を沖縄県技術・建設業課津嘉山課長（幹事長）が行い、開会のあいさつとして矢吹副会長による「橋の日」活動の目的および概要説明が行われました。
- ・ 「橋の日」の活動目的でもある『橋に感謝し、橋の歴史や構造を学ぶ』ため、琉球大学工学部環境建設工学科土木コースの学生による橋の説明、（一社）沖縄県測量建設コンサルタンツ協会の出前講座が行なわれました。





都市モノレール建設事務所の仕事紹介

仕事の紹介

沖縄県土木建築部 都市計画課
都市モノレール建設事務所

「ゆいレール」の愛称で県内外に親しまれている沖縄都市モノレールは、現在の那覇空港～首里駅までの約12.9kmの路線を運行しており、本事務所では首里駅からだこ浦西駅（浦添市前田）の約4.1kmを延長する整備を進めております。H31年春の開業を目指し、『期間限定』の7'0Y'ET事業として、職員一同一致団結し、夢と希望を持って日々業務に取り組んでおります。

具体的な仕事内容として、①モノレールが走行するための桁や、それらを支える②支柱、モノレールに関連する道路拡幅・新設などの③道路整備、建築分野である駅舎の整備を行っております。職員が全部つくっているの？という疑問があるかと思いますが、土木は決して単独でつくる事ができません。そのため、建設コンサルタント会社や工事施工業者へ依頼（発注）を行い、私たちが沖縄県民の代表として設計から施工のすべてを指揮・監督をしています。このように大規模事業のモノづくりのスタート（設計）からゴール（構造物の完成・供用）のすべてに携わり、技術的な指導、進捗管理、問題解決に向け取り組んでおります。



①モノレールが走行する桁



②支柱



③関連道路整備

てだこ浦西駅周辺計画

浦添前田駅周辺イメージパース



Message

成果が形に残るこの仕事は、夢に溢れた魅力的な仕事だと感じています。こどもにも自慢でき、誇りをもって業務に取り組んでいます。
モノづくりは多くの技術者の手が加わり出来上っている事も忘れてはいけません。土木の分野は「経験工学」と言われていますが、その多くの先代技術者の『思い』を継承していくのも仕事だと考えています。
沖縄県の発展のために魅力ある仕事をしてみませんか？一緒に仕事ができる事を楽しみにしております。

若津誠徹
那覇国際高校/琉球大学卒



社会基盤デザインコースの研究紹介
建設材料学分野

仕事の紹介

コンクリート構造物に関する研究の一例

人々を自然災害から守り、快適な暮らしに貢献するコンクリート構造物



津波・波浪・高波から守る（堤防・消波ブロック）



地滑り・斜面崩壊から守る（擁壁）



生活に必須な水の確保および洪水などから守る（ダム）



島々の人、モノを安心・安全に繋ぐ（離島架橋）

<コンクリート構造物の病気・高齢化>



コンクリートのひび割れ



コンクリート中の鉄筋破断

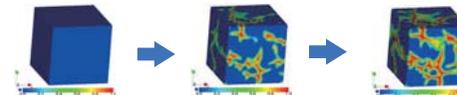
<病気の予防・治療のための研究開発>



現状把握・原因解明・将来予測
治療方法・新材料開発・新技術開発

材料研究室での取り組み例

コンクリートのひび割れをシミュレーションする(寿命予測)



X線GTスキャナによるコンクリート内部のひび割れ可視化(現状把握)



熊本大学との共同研究

Message

社会基盤デザインコースでは、地球そのものを研究対象とし、人々を自然災害から守り、快適な暮らしを築くために必要な研究を行っています。



富山 潤
与勝高校/琉球大学卒

将来性と主な職業

技術系公務員、建設コンサルタント、総合建設業などの技術者および大学、研究所などの研究者



西日本高速道路(NEXCO西日本)の仕事紹介

- ・高速道路会社ってナニする会社？
- ・沖縄自動車道における主な事業
- ・西日本高速道路(株)がめざすもの

NEXCO 西日本 仕事紹介

みち、ひと・・・未来へ

たゆまぬ技術の革新で、100年先の未来へ

西日本高速道路(NEXCO西日本)の事業エリアは、西日本地域の24府県(福井県・滋賀県～沖縄県)です。

お客様にいつでも快適に高速道路をご利用頂けるよう、路面や道路構造物の点検、清掃、補修などの日常的な維持管理をはじめ、24時間体制で道路巡回、交通情報の提供、料金サービスなどを行っています。また、高速道路の安全安心を高めるための交通安全対策などにも取り組んでいます。

また、高速道路建設事業を計画的かつ着実に推進します。高速道路の建設・管理を通じて培ったノウハウと技術力を生かして、トータルコストの削減を図りながら高品質なサービスを社会に還元していきます。



床版改良工事



橋梁点検車による点検

沖縄県での取り組み事例

沖縄自動車道 石川IC～許田IC間は、昭和50年の開通から40年以上が経過しました。

近年では、老朽化の進展とともに、飛来塩分が多い厳しい腐食性環境下にあることから、塩害による劣化の進行や新たな変状の発生などが顕在化しています。

重要な社会インフラである高速道路の仕事に携わり、道路づくりのスキルのみならず、地域連携や災害対応力の強化などの課題を通して幅広い知識や技術を習得できます。

西日本高速道路(NEXCO西日本) 中村 均 沖縄工業高等学校卒



将来性 & 免許資格

技術士、一級土木施工管理技士、RCCM など



那覇空港滑走路増設事業の紹介

沖縄総合事務局 開発建設部 空港整備課

沖縄総合事務局

仕事紹介

沖縄総合事務局 開発建設部 空港整備課

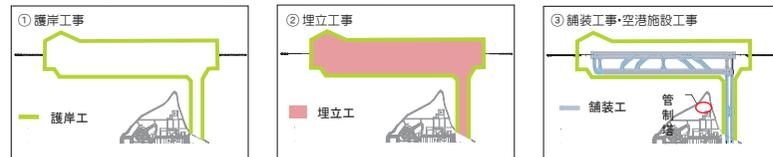
沖縄県の玄関口である那覇空港。その利用は年々増加しており、将来の観光客や取扱貨物量の増加に対応するため、2本目となる新しい滑走路をつくる事業を進めています。

滑走路ができあがるまでの流れは、①外周を取り囲んで護岸をつくり、②護岸の内側に土砂を投入し埋立をして、③滑走路の舗装や管制塔などの設置を行います。

また、これらの工事にあたっては、豊かな海域環境を現場としているため、サンゴ類の移植等を実施し、環境への配慮も行っています。

事業に携わる職員一丸となって、平成32年の供用開始に向けて全力で取り組んでいます。

滑走路工事の基本的な流れ



環境への配慮

サンゴ類の移植活動

新滑走路完成予想図

平成32年3月末供用予定



平成28年2月時点 那覇空港

先輩からのメッセージ



沖縄総合事務局は国という立場で、道路や港湾、空港の整備などの沖縄振興に関わる仕事をしています。一つひとつの仕事が沖縄の発展に寄与する重要でやりがいのある仕事です。

私は現在、滑走路増設の際に配慮すべき海の生物の保全対策などに関する業務を担当しています。沖縄の魅力のひとつでもある自然環境に係る仕事ができ、知識の幅が広がり、毎日楽しく仕事をしています。

みなさんも魅力ある沖縄総合事務局で沖縄のために働いてみませんか？一緒にお仕事できるのを楽しみにしています。

球陽高校 / 琉球大学卒業 上地杏奈



- 暮らしをつくる建設業の仕事紹介
 - ・道路、トンネル、ダム、橋、港湾など社会基盤(インフラ)をつくる仕事
 - ・地域の安全・安心を守る産業
 - ・災害発生時の迅速な復旧処理対応



(株)大城組
仕事紹介

経営理念

力努実誠

大城組は、大正9年の創業から今年で97年目を迎えます。土木部は、「自然の中に生きる」をテーマに、自然との調和を図るため周辺環境に配慮し“形”あるものを作ってきました。私たちの生活には欠かせない、インフラである港湾・空港・橋梁(橋脚)・トンネル、ライフラインの上下水道(貯水タンク・浄化施設)など多種多様な公共施設があります。これらの建造物を建設することにより、快適な人流・物流の移動等が可能となり、社会経済活動に大きく貢献するものであります。

特に、土木部は工事を受注すると、土木技術者が、現地調査、測量、施工計画、施工管理(工程・出来形・品質)を行い、「安全・安心・高品質」の建造物を造り出すため全力を挙げて取り組めます。そして、発注者、地域社会へ提供してまいります。

大城組は、その“形”が自然に溶け込み、活用され、ながく共生する姿であってほしいと願っています。



福地ダム



津嘉山トンネル



南風原高架橋



石垣港

Message



土木の醍醐味はダムやトンネルや橋梁等のスケールの大きなモノづくりに携われることです。完成したときの達成感や喜びをみんなと分かち合う瞬間、この仕事にやりがいを感じます。

株式会社 大城組 土木部
玉城英徳 (浦添高校/琉球大学 環境建設工学科 卒)



先輩や職人さんと一緒に作り上げたモノがみなさんの生活の一部として何十年も使ってもらえると思うと、土木の仕事をしていて誇らしく一番嬉しい時です。

株式会社 大城組 土木部
宮里直嗣 (興南高校卒/琉球大学 環境建設工学科 卒)



浦添南第一地区前田線トンネル工事
前田小学校のみなさんが見学に来ました。



- 都市モノレール建設事務所の仕事紹介
 - ・沖縄県での取組事例
 - ・仕事の将来性など

仕事の紹介

沖縄県土木建築部 都市計画課 沖縄都市モノレール室

沖縄都市モノレール(ゆいレール)は、那覇空港から首里駅までの区間を約27分で結ぶ、定時・定速で運行できる乗り物として、皆さんにご利用いただいています。

沖縄県都市計画・モノレール課 都市モノレール室では主に、営業区間の維持管理に関する仕事、モノレールの利用促進に関する仕事、首里駅からだご浦西駅までの延長区間の整備に関する仕事を行っています。

利用推進に関する仕事は、利用客を増やすための取り組みを考え実施する仕事で、那覇市・浦添市・沖縄都市モノレール(株)と連携し、様々な人とコミュニケーションを取りながら進めています。

延長整備に関する仕事は、モノレールが走行するための道路拡幅工事、インフラ工事(支柱・桁・駅舎骨格等)、インフラ外工事(車向、変電所、電車線路、信号通信、駅舎設備等)といった様々な工事を完成し、多くの皆さんにご利用いただくことを目的としています。

都市モノレール室では、延長整備に必要な予算や進捗状況のチェックをする仕事を行っており、延長整備に係る工事発注・監督は、都市モノレール建設事務所でも実施し、設計コンサルタントや工事業者、関係機関と調整を行いながら工事を進めています。



★てだご浦西駅建設イメージ



★支柱建設が進む延長区間(那覇市道石嶺線)

沖縄県での取り組み事例

	既存区間 (那覇空港駅～首里駅)	延長区間 (首里駅～てだご浦西駅)
事業費	1,100億円	480億円
延長	13.1km(建設) 12.9km(営業)	4.1km
支柱	584基	178基
桁本数	1,042本	352本
駅数	15駅	4駅



将来性

県のような土木行政に関わる事ができる。

Message

土木構造物を作る公共工事は、設計や施工、その他様々な職種に携わる人と連携しながら進められていきます。自分の関わった仕事が、直接的に社会貢献できるやりがいのある仕事です。将来、一緒に働けることを楽しみにしています。

笹原謙徳
出水高校(県外)/琉球大学卒



土木学会西部支部沖縄会幹事会人材確保・育成 WG H28 年度活動報告

WG 名	人材確保・育成 WG	WG 長	神谷 大介	幹事長	徳原 兼二
活動予定期間	平成 27 年 4 月 ～ 平成 30 年 3 月				
活動目的	<p>沖縄県内における土木技術者の人材不足に鑑み、短期的・中長期的な人材確保・育成が必要である。このため、短期的には人材確保のための活動、中長期的には土木に興味・関心を持つ児童・生徒を増加させるための取り組みを行い、上記課題の解決に資することを目的とする。</p>				
メンバー構成	<p>琉球大学:神谷准教授(WG 長)、下里准教授、富山准教授 (一財)沖縄県建設技術センター:試験研究部長(幹事長) 沖縄総合事務局:技術管理官、技術管理課長 沖縄県:技術・建設業課 建設業指導契約監 (一社)沖縄県建設業協会:理事 (一社)沖縄県測量設計コンサルタンツ協会:専務理事 (一社)沖縄しまたて協会:技術環境研究所技術環境部長 NEXCO 西日本(株):九州支社沖縄高速道路事務所統括課長 (株)沖縄建設新聞:参与</p>				
活動報告	<p>WG 各機関の取り組み状況について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高校生向け土木技術者 PR 用ポスター No. 1 ～No.4 作成し、県立高校 59 校及び私立高校 4 校へ配布。沖縄会 HP に掲載。 2. 高校物理教諭を対象とした現場見学会および懇談会の実施。 				
今後の活動計画と目標 (平成 29 年度)	<p>昨年と同様に高校生向けポスターの作成と配布、高校教諭との連携を行う。また、土木学会 教育企画・人材育成委員会とも連携し、目的に対して有効な取り組みに関する情報共有と活動実施を行う。</p>				

「土木・社会基盤の仕事」に関する現場見学会・懇談会 開催のご案内

開催趣旨

公益社団法人土木学会西部支部沖縄会は、沖縄県内の建設行政（沖縄総合事務局・沖縄県等）、建設業（ゼネコン・メーカー等）、建設コンサルタント、琉球大学等、土木・建設事業や学問に関わる者によって構成されております。

この度は、高等学校の先生方の進路（就職・進学）指導に役立てて頂くことを目的とし、沖縄県内の土木・社会基盤に関わる仕事の内容を紹介させていただく機会を設けさせて頂きました。沖縄の経済・観光・生活を支える基盤や仕組みを創る仕事についてご理解頂き、生徒の皆様の進路選択に活用して頂ければ幸いです。さらには、高校-大学-建設業-行政のネットワーク構築のきっかけになればと考えております。

ご多忙な時期とは存じますが、多くの先生方のご参加をお待ち申し上げます。

行政

コンサル
タント

大学

建設業

◆現場見学会・懇談会◆

平成29年1月21日(土)

受付12:40~17:00

【参加費：無料】

スケジュール

①モノレール現場見学会

12:40 受付

13:00

琉球大学 工学部 2号館/2F 大会議室
モノレール延長事業関連映像視聴

↓
13:20 大学出発（貸し切りバス）

首里駅~てだこ浦西駅建設現場見学
（てだこ浦西駅周辺にて現場説明）

②懇談会

15:30

琉球大学 工学部 2号館/2F 大会議室
プレゼンテーション・ディスカッション

17:00 終了・解散



日時・集合場所

- 対象
 - ・高等学校の進路指導
 - ・キャリア教育
 - ・理科系科目担当教員

● 開催日時
平成29年1月21日(土) 12:40~17:00

● 集合場所
琉球大学 工学部2号館/2F 大会議室



お申込み/お問合せ（琉球大学 工学部 神谷研究室）

【FAX】098-895-8677【E-mail】dobokuokinawakai@yahoo.co.jp

主催：土木学会西部支部沖縄会

後援：沖縄県土木建築部 / 沖縄県教育委員会 / 琉球大学(予定)

現場見学会 懇談会の様子



平成28年度収支決算書(案)

(単位:円)

収支科目	平成28年度 予算額 (a)	平成28年度 決算額 (b)	差異(a)-(b)	備考
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
(1)会費収入	(310,000)	(400,000)	△ 90,000	
①法人	310,000	400,000	△ 90,000	5000円*(62社) 過年度分収入有
(2)ランチ支援金	(120,000)	(120,000)	0	
①ランチ支援金	120,000	120,000	0	西部支部交付(世界に発信会へ)
(3)事業収入	(70,000)	(36,078)	33,922	
①行事収入	70,000	36,078	33,922	
①-1総会会費収入	0	0	0	
①-2定例会会費収入	0	0	0	
①-3講演講習会収入	70,000	36,078	33,922	講習会等(2回) CPDS参加費
①-4研究調査発表会収入	0	0	0	
(4)雑収入	(0)	(14)	△ 14	
①受取利息・配当金	0	14	△ 14	銀行利子
(5)繰入金収入			0	
①支所繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入(A)	(500,000)	(556,092)	△ 56,092	
2.事業活動支出				
(1)事業費支出	(513,000)	(533,568)	△ 20,568	
①講習会費	160,000	256,666	△ 96,666	講習会等(2回)
②研究発表会費	58,000	57,597	403	
③広報費	155,000	161,063	△ 6,063	橋の日・土木の日
④現場見学会費	65,000	0	65,000	
⑤その他、総会	75,000	58,242	16,758	
⑥拠出金	0	0	0	
(2)管理費	(35,000)	(22,188)	12,812	HP管理費、切手、郵送費等
(3)繰越金支出	(0)	(0)	0	
①特別会計繰越支出			0	
事業活動支出計(B)	(548,000)	(555,756)	△ 7,756	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 48,000	336	△ 48,336	
II.投資活動収支の部			0	
1.投資活動収入			0	
(1)特定貯金取崩収入	(0)	(0)	0	
①支部運営積立貯金取崩収入			0	
投資活動収入計(D)	(0)	(0)	0	
2.投資活動支出	(0)	(0)	0	
(1)固定資産取得支出	0	0	0	
(2)特定貯金支出	(0)	(0)	0	
①支部運営積立貯金支出	0	0	0	
投資活動支出計(E)	0	0	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	0	0	0	
III.予備費支出(G)				
当期収支差額(H)=(C)+(F)+(G)	△ 48,000	336	△ 48,336	
前期繰越収支差額(I)	490,565	490,565	0	
次期繰越収支差額(H)+(I)	442,565	490,901	△ 48,336	

平成28年度 監査報告書

平成28年度(一社)土木学会西部支部沖縄会の収入・支出及び財産につき関係諸帳簿及び、証拠書類を監査の結果、適正かつ正確に経理されていることを確認する。

平成29年 7月 7日

監査役 沖縄県土木建築部 土木整備統括監

上原 国定 

監査役 (一社) 沖縄県建設業協会 会長

下地 米蔵 

平成29年度 主要事業計画（案）

1. 土木学会西部支部沖縄会総会

(1) 企画内容等

年1回総会を開催する。

(2) 開催日時：平成29年7月18日（火） 16:40～17:10

(3) 開催場所：那覇市厚生会館

2. 講演会の開催

(1) テーマ：i-construction/Big data

(2) 内容：①沖縄総合事務局による事例紹介

②特別講演：今井龍一（東京都市大学准教授）

(2) 開催時期：H29年8月29日（火） 14:00～17:00

(3) 開催場所：県立博物館・美術館

3. 講習会等の開催

(1) 企画内容等

講習会（CPDS／CPD）等を開催する。

テーマ：検討中

(2) 開催時期：検討中

4. 技術研究発表会等

(1) 企画内容等

沖縄会、沖縄総合事務局、沖縄県合同技術研究発表会を開催し、大学、主要発注機関、コンサルタント等から発表論文を募集し、より活性化を図る。年に1回開催する。

(2) 開催日時：平成30年1月

(3) 開催場所：西原町 琉球大学

5. 広報活動

(1) 土木の日シンポジウム

・土木の日（11月18日）にあわせ、土木工学に係るシンポジウムを開催。

・開催日時：平成29年11月18日（予定）

・開催場所：検討中

(2) 橋の日イベント

・橋の日（8月4日）にあわせ、県内橋梁の歴史調査、清掃などを行う。

・開催日時：平成29年8月9日（予定）

・開催概要：金城ダム公園内ヒジ川橋

(3) 土木・社会基盤の仕事高校生向けPRポスター作成および配布、沖縄会HPへの掲載。

(4) その他

6. ホームページの管理・運営

各種事業の取組に合わせて適宜情報を提供し、広報等に活用。

7. 現場見学会等

(1) 企画内容等

高等学校物理担当教諭対象の見学会および懇談会を予定（人材確保・育成WGとの連携事業）

(2) 開催日時

平成29年8月8日（予定）

(3) 開催場所：検討中

8. 土木技術者の確保・育成について

人材確保・育成WGにおいて、土木技術者の確保・育成のための効果的な活動内容について、教育機関等と引き続き協議を行い実施方法について検討を進める。

9. 後援について

『吹付け監理技術者講習会 ～コンクリート構造物の維持補修～』

特別講演：富山准教授（琉球大学）

開催日：平成29年9月7日（木）

会場：琉球大学50周年記念館

【主催：一般社団法人 日本建設機械施行協会 施工技術総合研究所】

【後援：土木学会西部支部沖縄会】

『コンクリート構造物の長寿命化対策に関わる技術講習会』

開催日：平成29年9月29日（金）

会場：沖縄県立博物館・美術館 3階 講堂

【主催：一般社団法人 日本建設保全協会】

【後援：土木学会西部支部沖縄会】

特別講演会開催

テーマ(仮) : i-construction/Big data

2017年

8月29日 火 14:00-17:00

【場所】 沖縄県立博物館・美術館(講堂)3階
沖縄県那覇市おもろまち3-1-1

【主催】 土木学会西部支部沖縄会

第一部

「 沖縄総合事務局における
i-constructionの取り組みについて (仮) 」
高良哲治 (沖縄総合事務局 開発建設部 技術管理課長)

第二部

「 i-construction等における
多様なビッグデータの活用の方向性 (仮) 」
今井龍一准教授 (東京都市大学)

申込先
お問い合わせ

土木学会西部支部沖縄会 (沖縄しまたて協会内)

FAX: 098-874-5301 TEL: 098-879-2087

E-mail : dobokuoki-jim@shimatate.or.jp

平成29年度予算書(案)

一般会計

(単位:円)

収支科目	平成29年度 予算額(a)	平成28年度予算額 (当初)(b)	差異(a)-(b)	備考
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
(1)会費収入	(310,000)	(310,000)	0	
①法人	310,000	310,000	0	5,000円*62社
(2)ランチ支援金	(120,000)	(120,000)	0	支部交付金(発信する会へ)
	120,000	120,000	0	
(3)事業収入	(70,000)	(70,000)	0	
①行事収入	70,000	70,000	0	
①-1総会会費収入	0	0	0	
①-2定例会会費収入	0	0	0	
①-3講演講習会収入	70,000	70,000	0	
①-4研究調査発表会収入	0	0	0	
(4)雑収入	0	0	0	
①受取利息・配当金	0	0	0	
(5)繰入金収入	0	0	0	
①支所繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入(A)	(500,000)	(500,000)	0	
2.事業活動支出				
(1)事業費支出	(698,760)	(648,000)	50,760	
①講習会費	200,000	210,000	△ 10,000	講演会、講習会、会場借上げ費等
②研究発表会費	58,000	58,000	0	会場借上げ費、記念品等
③広報費	225,000	185,000	40,000	橋の日・土木の日、ポスター郵送費
④現場見学会費	140,760	120,000	20,760	会場借上げ費など(調整中) H28バス借上げ料(未払い分) ¥50,760含む
⑤その他、総会	75,000	75,000	0	会場借上げ費など
⑥拠出金	0	0	0	
(2)管理費	(35,000)	(35,000)	0	HP管理費等、郵送費等
(3)繰越金支出	0	0	0	
①特別会計繰越支出	0	0	0	
事業活動支出計(B)	(733,760)	(683,000)	50,760	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 233,760	△ 183,000	△ 50,760	
II.投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
(1)特定貯金取崩収入	0	0	0	
①支部運営積立貯金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計(D)	0	0	0	
2.投資活動支出				
(1)固定資産取得支出	0	0	0	
(2)特定貯金支出	0	0	0	
①支部運営積立貯金支出	0	0	0	
投資活動支出計(E)	0	0	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	0	0	0	
III.予備費支出(G)				
当期収支差額(H)=(C)+(F)+(G)	△ 233,760	△ 183,000	△ 50,760	
前期繰越収支差額(I)	490,901	490,565	336	
次期繰越収支差額(H)+(I)	257,141	307,565	△ 50,424	

土木学会西部支部 沖縄会 規約

(名称)

第1条 本会は、土木学会西部支部沖縄会（以下「本会」という）といい、土木学会西部支部プランチ(分会) 制度細則（平成23年7月25日制定）に基づくものである。

(目的)

第2条 本会は、会員相互の土木技術の向上・研鑽・親睦交流、国際的視野に立った情報発信を行い、沖縄の自然・社会条件を踏まえた土木工学の発展と沖縄の振興および自立的発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う

1. 土木工学に関する研究発表会、講演会、見学会、視察等の実施
2. 土木学会活動の沖縄地域への普及・広報活動
3. 会員間の親睦に寄与する行事
4. 土木工学に関する図書、印刷物の刊行
5. 土木工学に関する奨励、援助
6. 土木工学教育及び土木技術者教育への支援
7. 土木関係資料の収集・保管・公開
8. その他本会の目標達成のために必要な事業

(会員)

第4条 本会の会員は次の資格を有するもので構成する。

1. 正規会員
 - A 沖縄県内に在住するか又、県内の土木工学にたずさわる土木学会正会員・フェロー会員・名誉会員
 - B 沖縄県内に在住する土木学会学生会員
2. 特別会員
 - A 沖縄県内に在住するか又は、沖縄県内の土木工学にたずさわりの、本会の目的事業に賛同する個人
 - B 沖縄県内に在所するか又は、沖縄県内の土木工学にたずさわりの、本会の目的事業に賛同する団体

特別会員は、入会后10年迄を原則とする。

(入会及び会費)

第5条 特別会員に係る入会及び会費は次のとおりとする。

1. 特別会員になろうとするものは、土木学会西部支部沖縄会細則(以下「細則」という)で定めるところにより入会手続きを行い、幹事会の承認を得なければならない。
2. 特別会員は、細則(初年度は総会)において定める会費を納入しなければならない。
3. 既納の会費は返還しない。

(退会)

第6条 特別会員で退会しようとする者は、所定の義務を完了した後、退会届を提出しなければならない。また、特別会員の団体構成員は特別会員の退会と同時に退会したと見なす。

(除名)

第7条 会員が会(土木学会及び沖縄会)の名誉を傷つけまたは会の目的に反する行為をするに至ったときは、総会の議決によって当該会員を除名することができる。
特別会員の団体構成員は特別会員の除名と同時に除名とする。

(会員資格の喪失)

第8条 前2条の場合のほか、会員は、次に該当するに至ったときは、その資格を喪失することができる。また、特別会員の団体構成員は特別会員の資格喪失と同時に資格喪失とする。

1. 第5条の支払義務を1年以上履行しなかったとき。

(役員)

第9条 本会に次の役員を置く。

1. 会長 1名
2. 副会長 2名
3. 会計監事 2名
4. 運営委員 若干名
5. 幹事長 1名
6. 副幹事長 **+ 3名**
7. 幹事 若干名

- 2) 幹事長、副幹事長は運営委員と兼務することができるものとする。

(役員を選任)

第10条 役員を選任方法は、次のとおりとする。

1. 会長および会計監事は本会に所属する会員の中から幹事会及び運営委員会の審議を経て総会で選任する。
2. 副会長は会長が委嘱する。
3. 運営委員、幹事長及び副幹事長並びに幹事は会長が委嘱する。

(役員職務)

第11条 役員職務は次のとおりとする。

1. 会長は、会を代表し、総会及び運営委員会の議長となる。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある場合その職務を代行する。
3. 会計監事は、本会の会計監査を行い、総会に報告する。
4. 運営委員は、本会に関する重要な事項について、会長の諮問に応ずる。
5. 幹事長は、会長及び副会長を補佐し、会務を処理する。
6. 副幹事長は、幹事長を補佐し、必要に応じて幹事長の職務を代行する。
7. 幹事は、幹事長及び副幹事長とともに幹事会を構成し、幹事長及び副幹事長を補佐して会務を執行する。

(役員任期)

第12条 役員任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2) 任期中の異動等により任務の遂行が不可能となった場合、原則として前任者の所属する機関からの推薦を受けるものとする。この場合、任期は前任者の残存期間とする。

(総会)

- 第13条 会長は、毎事業年度終了後、総会を開催し、また、必要に応じて臨時総会を開催する。
- 2) 総会の議長は、会長がこれに当たる。
 - 3) 総会は、次の事項について決議する。
 1. 沖縄会の事業報告及び収支決算の報告
 2. 沖縄会の事業計画及び予算
 3. 沖縄会の規約等の制定及び改正
 4. 会長、会計監事の選任
 5. その他、沖縄会運営に関する重要事項
 - 4) 総会は、沖縄会に所属する正規会員及び特別会員Bの1/20以上の出席をもって成立し、出席者の過半数の賛成で決議する。ただし、委任状を提出した者については、出席者とみなす。

(運営委員会)

- 第14条 運営委員会は、会長、副会長、運営委員および会計監事をもって構成し、議長は会長がこれに当たる。
- 2) 運営委員会は、原則として年1回以上開催することとし、会長が招集する。
 - 3) 運営委員会は、次の事項について決議する。
 1. 沖縄会の事業報告(案)、収支決算(案)
 2. 沖縄会の事業計画(案)及び予算(案)
 3. 会長候補者及び会計監事候補者の選出
 4. その他、沖縄会総会の権限に属するものを除く、沖縄会運営に関する基本的事項
 - 4) 運営委員会は、運営委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数の賛成で決議する。ただし、委任状を提出した者については、出席者とみなす。

(幹事会)

- 第15条 幹事会は、幹事長、副幹事長及びすべての幹事をもって構成し、議長は幹事長がこれに当たる。
- 2) 幹事会は、原則として年2回以上開催するものとし、幹事長が招集する。
 - 3) 幹事会は、総会で承認された事業計画及び予算に基づき、会務を執行するとともに、年度途中で発生した会務運営に関する事項の具体策を検討し、実施する。
 - 4) 幹事会の運営については、幹事会が別途運営細則を定める。
 - 5) 幹事会は、幹事の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数の賛成で決議する。ただし、委任状を提出した者については、出席者とみなす。

(委員会)

- 第16条 会長は、第3条の事業を行うために、次の委員会を設けるものとする。また、必要があるときは、原則として運営委員会の審議を経て、新たな委員会を設けることができる。
1. 沖縄の土木技術を世界に発信する会
 2. 技術委員会
- 2) 各委員会は、会長が委嘱した委員長および委員によって構成する。
 - 3) 各委員会の運営細則は、各委員会が別途定めるものとする。

(事業報告、事業計画、収支決算及び予算)

- 第17条 本会の事業報告、事業計画、収支決算及び予算は毎年度の当初において幹事会で作成し

運営委員会の承認を得て総会に諮るとともに、土木学会西部支部幹事会に報告するものとする。また、西部支部からの支援を受けようとする事業については、西部支部幹事会の承認を諮るものとする。

(経費等)

第 18 条 本会の経費は特別会費を徴しこれにあてるほか、西部支部からの交付金、事業に伴う収入および協力金による。

(会計年度)

第 19 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

(事務所)

第 20 条 本会の事務所は浦添市勢理客 4 丁目 18 番 1 号、(一社)沖縄しまたて協会内に置く。

(規約の変更)

第 21 条 この規約は総会の決議を得なければ変更することが出来ない。ただし、軽微なものはこの限りでない。

(その他)

第 22 条 本会は土木学会定款、規則及び西部支部規定を遵守し活動を行うものである。

- 付則)
1. この規約は平成 23 年 9 月 20 日より施行する。
 2. 初年度は会長及び会計監事を総会で選任する。
 3. 初年度は特別会員 A、特別会員 B を総会で承認する
 4. この規約は平成 24 年 7 月 4 日より施行する。
 5. 平成 29 年 7 月 18 日一部改定.

沖縄会会長選出に係る申し合わせ事項

第1条 会長は、原則として下記に掲げる機関から輪番で選出するものとする。

- ・ 琉球大学 工学部
- ・ 内閣府 沖縄総合事務局
- ・ 沖縄県

第2条 会計監事は、原則として運営委員機関から選出するものとする。

第3条 副会長は、第1条に掲げる機関のうち、会長が選出されていない機関から、会長が委嘱することを基本とする。

第4条 幹事長は会長を選出している機関から、会長が委嘱することを基本とする。

2) 幹事長は副幹事長を兼ねることが出来る。

~~第5条 副幹事長は第1条に基づき輪番で次期会長が選出される予定の機関から、会長が委嘱することを基本とする。~~

~~2) 副幹事長所属の機関は総会・運営委員会・幹事会等に係る運営事務を担う。~~

副幹事長は第1条に掲げる機関から1名ずつ選出する。

2) 次期会長選出機関は、総会・運営委員会・幹事会等に係る運営事務を担う。

付則) 1. 本申し合わせ事項は平成25年6月25日より施行する。

2. 平成29年7月18日一部改定

土木学会西部支部 沖縄会 幹事会運営細則

(総則)

第1条 この細則は、土木学会西部支部沖縄会規約(以下「本会」、「規約」という)第5条及び第13条の規定に基づき、土木学会西部支部沖縄会幹事会(以下「幹事会」という)の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 本幹事会は、本会規約第3条に規定する沖縄会の事業、会務を円滑に執行するため、以下の活動を行う。

(活動)

第3条 幹事会は、次の事項を遂行する。

1. 本会の事業計画(案)、収支予算(案)の作成。
2. 本会の事業報告(案)、収支決算(案)の作成
3. 土木工学に関する研究発表会、講演会に関すること。
4. 土木工学に関する見学会、視察等の実施。
5. 土木学会活動の沖縄地方への普及・広報活動。
6. 本部主催行事に関わる事項。
7. 他機関からの共催等に関する事項。
8. 本会員間の親睦に寄与する行事。
9. 本会ホームページの管理と運営に関すること。
10. 特別会員になろうとするものの審査・承認。
11. その他本会の目的達成のために必要な事項。

2) 幹事会は前項第3号、第5号、第11号に規定する事項を、「土木学会西部支部 沖縄会技術委員会」(以下「技術委員会」という)に委託することができる。

ただし、第11号の事項のうち、幹事長が幹事会に諮る必要性があると判断した事項については幹事会において担うものとする。

3) 副幹事長には、**予算・会計担当、橋の日・現場見学会担当、技術講演会・研究発表会担当、をおく**

(附則) 1. この細則規約は平成25年7月4日より実施する。

2. 平成29年7月18日一部改定

土木学会西部支部 沖縄会 技術委員会

「インフラの劣化予測と残存性能の診断に関する小委員会」設立趣旨

インフラの維持管理で適用される各種非破壊検査は、使用する試験機器性能や診断技術者の経験と技量に依存し、診断結果の信頼性確保の課題である。また、発見された劣化に対する進展予測技術の構築は、インフラ構造物の残存性能評価のためには不可欠である。したがって、本小委員会では、テーマ1として実際に劣化したインフラを対象に、各種非破壊検査の性能検証と技術者の技量向上に資する調査研究を実施し、その成果をマニュアルにまとめる。また、非破壊検査データを基にFEMなどの構造解析を用いて、残存性能評価法構築のための調査研究を行う。次に、テーマ2として、対象インフラの台風時の動的挙動並びに塩害劣化環境特性に関する遠隔モニタリングの構築を目的に、劣化診断データの収集及び分析技術に関する調査研究を行う。これらの調査研究により、維持管理診断技術の発展に寄与することを目的として活動を行う。なお、沖縄の環境特性を鑑み、塩害や風振動に関連する事象を主な調査研究の対象とする。

●活動内容

【テーマ1】橋梁インフラを対象とした非破壊検査と性能診断 [(案)主査:垣花]

- 1) 実塩害劣化桁に対する各種非破壊検査機器の性能評価に関する調査研究
- 2) 損傷データベースおよび非破壊検査データを用いた劣化進展予測技術に関する調査研究
- 3) 劣化度に応じた橋梁インフラの残存性能評価手法に関する調査研究

【テーマ2】遠隔モニタリングの実証研究 [(案)主査:田井]

- 1) 照明柱を対象とした柱基部の疲労モニタリングによる実証研究
- 2) 山間部にある鋼橋の腐食環境モニタリングによる実証研究
- 3) 橋梁の劣化診断を目的とした車両重量モニタリングによる実証研究

●活動期間：承認後～平成31年5月（約2年間）

●委員構成（案）

- 委員長：下里 哲弘（琉球大学）
副委員長：玉城 喜章（沖縄しまたて協会技術環境研究所）
幹事長：垣花 寿（川田建設株式会社沖縄駐在）
幹事：田井 政行（琉球大学）
幹事：砂川 章次（株中央建設コンサルタント）
幹事：岡部 成行（株式会社 オカベメンテ）
幹事：久米 仁司（株南伸）
委員：〇〇 〇〇（沖縄総合事務局開発建設部）
委員：〇〇 〇〇（沖縄県土木建築部）
委員：〇〇 〇〇（那覇市）
委員：〇〇 〇〇（西日本高速道路株九州支社沖縄管理事務所）
委員：大城 剛（株ウイング総合設計）
委員：牧野 敏明（株）沖縄建設技研）
委員：神谷（株）ホープ設計）
委員：荒牧 聡（株）建設技術研究所）
委員：本田 博幸（大日本コンサルタント株式会社沖縄事務所）

その他、5名程度募集

●委員公募期間：1ヶ月程度

- ・土木学会もしくは土木学会西部支部沖縄会の会員（企業会員可）である土木技術者を募集致します。
- ・応募先：simozato@tec.u-ryukyu.ac.jp（小委員長 琉球大学 下里哲弘 宛）
- ・応募時の明記事項：氏名，所属，連絡先（電話番号，メールアドレス等）
- ・応募後，小委員会から委員選抜結果について，ご連絡致します。